

# こう じょ 更生だより

第 3 1 号  
令和 7 年 3 月 1 日  
尾花沢市更生保護女性会

更生保護女性会は、罪を犯した人や非行のある少年たちの立ち直りに協力することを目的とした法務省管轄のボランティア団体で、社会を明るくする活動に取り組んでいます。

## 第52回山形県更生保護大会

10月30日、長井市文化会館において、みだしの大会が開催されました。この大会は、県内の更生保護関係者が一堂に会して研鑽を図り、意識の統一と士気の高揚を図るために毎年開催されているもので、保護司及び更生保護女性会員、協力事業主等、810名が参加しました。

式典にさきがけ、山形県神社庁副庁長（鮎貝八幡宮宮司）新野義憲氏による「自然・環境・心の育み」と題した記念講演が行われました。

式典では、更生保護事業に功労のあった方々に対し各種表彰が行われました。

尾花沢市更生保護女性会の受賞者は次の方々です。

- 東北地方更生保護委員会委員長感謝状  
齊藤ムツ子さん
- 東北地方更生保護女性連盟会長表彰  
大場悦子さん 齊藤とよ子さん
- 山形保護観察所長感謝状  
菅藤広美さん 古瀬美子さん 三浦喜代子さん  
おめでとうございます。



## タオル552枚を寄贈しました

コロナ禍に全会員が参加できる非対面型のボランティア活動として始めたタオル寄贈活動は4年目になり、今年は552枚のタオルが集まりました。

10月24日、「特別養護老人ホームよつば荘」に会長と副会長が訪問し、寄贈させていただきました。施設では大量にタオルを使用するので、大変喜んでいただきました。



## 「羽陽和光会」への贈り物

昨年末、歳末助け合い運動の一環として更生保護施設「羽陽和光会」（山形市）に、米10キロとうどん30束をお届けしました。

「羽陽和光会」は、刑務所を出所後、様々な事情を抱えた人たちが一時的に身を寄せる施設です。当会では、入所者の皆さんの更生を願って、この活動を30年以上にわたり毎年実施しています。



# 会員研修会 ～市内文化財見学会～

10月23日、宮沢地区にある文化財の見学会を実施しました。丹生の巢林寺では本堂内壁の天女のこて絵を見学しましたが、とても優美で、彩色の美しさに心打たれました。その後、住職から仏教に関するありがたいお話をユーモアを交えて聞かせていただきました。

丹生の本間家ではお蔵の扉の鶴と亀をモチーフとしたこて絵を、上ノ宿の阿部家では二階の戸袋にある彩色のあるこて絵を見学させていただきました。

いずれも大石田の左官職人の作品で、その技術の高さに「すごいね」と一同感心しきりでした。

宮沢地区のこて絵は欄干やお蔵の窓口扉、戸袋などに見られ、絵画や浮き彫りのようで、繊細かつ優美で見事でした。これが、こてひとつで仕上げられたとは驚きです。雨、風、雪から守り、大切に保管されている様子がうかがえ、後世に残してほしい文化財だと思いました。

尾花沢地区 梅津裕子

文化財であるこて絵に出会い、左官職人の彫塑技術と芸術の高さに感動しました。こて絵は、今回の研修に参加しなければ見る事ができなかったと思います。また、住職の「取り返しのつかない事でも、更生して一つ一つ積み重ねていくのが人生」の言葉が心に響く研修でした。

常盤地区 秋保のえ子



## 第1回ボランティアスクール

～岩沼市訪問～

\*\*\*\*\*

10月9日、岩沼市の「千年希望の丘」を訪問しました。「千年希望の丘」は、東日本大震災の津波により人が住めなくなった土地を利用し、津波の力を減衰させるため防波堤を整備し植樹を行った場所で、今まで尾花沢市ボランティア連絡協議会のメンバーとして当会の会員も植樹活動に参加してきました。

今回は、22名が参加し、岩沼市社会福祉協議会を訪問し、ボランティア団体「虹の会」の代表の方から活動状況をお聞きし、その後、植樹した場所の現在の状況を見てきました。

「虹の会」の代表の方の「人とのふれあいが大事」という言葉と笑顔が印象的でした。

当日はあいにくの雨で霧が深かったのですが、確かに私たちの植えた木々の成長を感じ、これからも未来に向けてすくすくと育ててほしいと願って帰ってきました。

福原地区 東海林朋子

## 第2回ボランティアスクール

～市議会傍聴～

12月5日、第2回ボランティアスクールが開催され当会の会員2名が参加し、12月定例会を傍聴しました。



## 編集後記

まだまだ寒い日が続きますね。皆様いかにお過ごしでしょうか。

当会の活動を知っていただくため、機関紙第31号を発行させていただきました。今後とも、活動へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

(広報部)